

平成20年度 児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査の結果について

【神奈川県 公立学校分】

神奈川県教育委員会教育局
子ども教育支援課児童生徒指導室

資料目次

結果の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1～2

【暴力行為の状況】

(1 - 1) 暴力行為の発生状況・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3
(1 - 2) 学年別・男女別加害児童生徒数・・・・・・・・ P 4
(1 - 3) 加害児童生徒に対する学校の措置状況・・・・・・・・ P 5
(1 - 4) 加害児童生徒に対する関係機関の措置状況・・・・・・・・ P 6
(1 - 5) 加害児童生徒に対する学校の対応・・・・・・・・ P 7

【いじめの状況】

(2 - 1) いじめの認知学校数・認知件数・・・・・・・・ P 8
(2 - 2) いじめの現在の状況・・・・・・・・ P 8
(2 - 3) いじめの認知件数の学年別、男女別内訳・・・・・・・・ P 9
(2 - 4) いじめの発見のきっかけ・・・・・・・・ P 10
(2 - 5) いじめられた児童生徒の相談の状況・・・・・・・・ P 11
(2 - 6) いじめの態様・・・・・・・・ P 12
(2 - 7) いじめる児童生徒への対応・・・・・・・・ P 13
(2 - 8) いじめられた児童生徒への対応・・・・・・・・ P 14
(2 - 9) 個々のいじめへの対応・・・・・・・・ P 15
(2 - 10) 学校におけるいじめの問題に対する日常の取組・・・・・・・・ P 16～18
(2 - 11) いじめの日常的な実態把握のために、学校が直接児童生徒に対し行った
具体的な方法・・・・・・・・ P 19～20
(2 - 12) いじめの問題により就学校の指定変更等を受けた児童生徒数・・・・・・・・ P 20

【出席停止の状況】

(3 - 1) 出席停止の件数・・・・・・・・ P 21
(3 - 2) 出席停止の学年別・男女別件数・・・・・・・・ P 21
(3 - 3) 出席停止の期間別件数・・・・・・・・ P 22
(3 - 4) 出席停止の理由別件数・・・・・・・・ P 23

【自殺の状況】

(4 - 1) 児童生徒の自殺の状況・・・・・・・・ P 24
(4 - 2) 自殺した児童生徒の学年別、男女別内訳・・・・・・・・ P 25
(4 - 3) 自殺した児童生徒が置かれていた状況・・・・・・・・ P 25

【教育相談の状況】

(5 - 1) 県・政令指定都市における教育相談機関及び教育相談員数・・・・・・・・ P 26
(5 - 2) 県・政令指定都市における教育相談員数別機関数・・・・・・・・ P 26
(5 - 3) 県・政令指定都市における相談形態別教育相談機関数・・・・・・・・ P 27
(5 - 4) 県・政令指定都市における相談形態別教育相談件数・・・・・・・・ P 27
(5 - 5) 県・政令指定都市における小学校、中学生及び高校生に関する教育相談件数 P 28
(5 - 6) 政令指定都市を除く市町村における教育相談機関及び教育相談員数・・・・・・・・ P 29
(5 - 7) 政令指定都市を除く市町村における相談形態別教育相談件数・・・・・・・・ P 29

【参考】

(参考1) 暴力行為の発生件数の推移(神奈川県公立学校)・・・・・・・・ P 30
(参考2) いじめの認知(発生)件数の推移(神奈川県公立学校)・・・・・・・・ P 31

平成 20 年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」
(神奈川県)について(公立学校分)

1 暴力行為の状況 (P3 ~ P7)

暴力行為の発生件数は 8,879 件と 4 年連続で増加しており、小・中学校においては、調査開始以来、過去最高の件数を更新した。

暴力行為の発生件数は、小学校 1,220 件(前年度より 345 件増加)、中学校 6,736 件(前年度より 1,271 件増加)、高等学校 923 件(前年度より 91 件減少)の合計 8,879 件(前年度より 1,525 件増加)。

- ・ 「対教師暴力」は 1,147 件(前年度より 232 件増加)。
- ・ 「生徒間暴力」は 4,091 件(前年度より 592 件増加)。
- ・ 「対人暴力」は 185 件(前年度より増減なし)。
- ・ 「器物損壊」は 3,456 件(前年度より 701 件増加)。

今年度初めて調査した、暴力行為の発生件数のうち当該暴力行為により被害者が病院で治療した場合の件数は、「対教師暴力」で 229 件(発生件数に対する割合は 20.0%)、「生徒間暴力」で 1,031 件(発生件数に対する割合は 25.2%)、「対人暴力」で 50 件(発生件数に対する割合は 27.0%)の合計 1,310 件(発生件数に対する割合は 24.2%)。

暴力行為が発生した学校数について、

- ・ 暴力行為が学校内で発生した学校数は 715 校(前年度より 34 校増加)で、全学校数に占める割合は 49.7%(前年度より 2.8 ポイント上昇)。
- ・ 学校外で暴力行為を起こした児童生徒が在籍する学校数は 277 校(前年度より 24 校増加)、全学校に占める割合は 19.2%(前年度より 1.8 ポイント上昇)。

加害児童生徒数は、小学校で 1,016 人(前年度より 245 人増加)、中学校で 5,830 人(前年度より 810 人増加)、高等学校で 954 人(前年度より 52 人増加)の合計 7,800 人(前年度より 1,107 人増加)。

- ・ 加害児童生徒のうち学校が何らかの措置をとった児童生徒は、小学校で 8 人(前年度より 7 人増加)、中学校で 185 人(前年度より 117 人増加)、高等学校で 670 人(前年度より 82 人増加)。
- ・ 加害児童生徒のうち関係機関により何らかの措置がとられた児童生徒は、小学校で 25 人(前年度より 10 人増加)、中学校で 492 人(前年度より 27 人増加)、高等学校で 27 人(前年度より 12 人減少)。

なお、加害児童生徒に対する学校の対応における「連携した機関等」では、「警察等の刑事司法機関と連携した対応」が 590 人(前年度より 92 人増加)で最も多く、小学校で 14 人(前年度より増減なし)、中学校で 555 人(前年度より 106 人増加)、高等学校で 21 人(前年度より 14 人減少)。

2 いじめの状況 (P8 ~ P20)

いじめの認知件数は 3,909 件と、前年度(4,221 件)より 312 件(7.4%)減少している。

いじめの認知件数は、小学校 1,320 件(前年度より 77 件減少)、中学校 2,421 件(148 件減少)、高等学校 154 件(前年度より 90 件減少)、特別支援学校 14 件(前年度より 3 件増加)の合計 3,909 件(前年度より 312 件減少)。

いじめの現在の状況で「解消しているもの」の件数の割合は 73.0%(前年度より 0.6 ポイント上昇)で、これと「一定の解消関係が図られたが継続支援中」を併せると 92.0%(前年度より 1.0 ポイント上昇)。

いじめを認知した学校の割合は 53.2%(前年度より 4.1 ポイント低下)。

いじめの発見のきっかけは、

- ・ 「本人からの訴え」は27.0%（前年度より0.7ポイント低下）で最も多い。
- ・ 「学級担任が発見」は26.8%（前年度より2.0ポイント上昇）。
- ・ 「当該児童生徒（本人）の保護者からの訴え」は20.6%（前年度より0.3ポイント低下）。

いじめられた児童生徒の相談状況は「学級担任に相談」が69.6%（前年度より3.2ポイント低下）で最も多い。

いじめの態様のうちパソコンや携帯電話等を使ったいじめは295件（前年度より81件減少）で、いじめの認知件数に占める割合は7.5%（前年度より1.4ポイント低下）。

いじめの日常的な実態把握のための学校の取組について、

- ・ 「個別面談」では、いじめを認知した学校で88.1%（前年度より1.2ポイント上昇）、いじめを認知していない学校で61.0%（前年度より6.0ポイント上昇）の合計75.4%（前年度より2.1ポイント上昇）。
- ・ 「家庭訪問」では、いじめを認知した学校で58.3%（前年度より4.6ポイント上昇）、いじめを認知していない学校で36.3%（前年度より1.7ポイント上昇）の合計48.0%（前年度より2.4ポイント上昇）。
- ・ 「アンケート調査の実施」では、いじめを認知した学校で54.6%（前年度より3.1ポイント低下）、いじめを認知していない学校で31.7%（前年度より0.4ポイント上昇）の合計43.9%（前年度より2.6ポイント低下）。

3 出席停止の状況（P21～P23）

出席停止の措置件数は0件で、前年度と比べて3件の減少である。

出席停止の措置件数は、小学校0件（前年度同数）、中学校0件（前年度より3件減少）の合計0件（前年度より3件減少）。

4 自殺の状況（P24～P25）

自殺した児童生徒は0人で、前年度と比べて3人の減少である。

自殺した児童生徒数は、小学校0人（前年度同数）、中学校0人（前年度より2人減少）、高等学校0人（前年度より1人減少）の合計0人。

5 教育相談の状況（P26～P29）

教育相談機関数は43ヶ所（県・政令指定都市5ヶ所、その他の市町村38ヶ所）で、前年度に比べ2ヶ所減少したが、教育相談件数は112,792件と前年度と比べ8,527件（8.2%）増加した。

県・政令指定都市の教育委員会が所管する教育相談機関は5カ所（前年より1ヶ所増加）。

- ・ 相談員は204人（前年度より15人減少）。
- ・ 教育相談件数は36,721件（前年度より6,118件、20.0%の増加）。

市町村（政令指定都市を除く）教育委員会が所管する教育相談機関は38カ所（前年度より3カ所減少）。

- ・ 相談員は275人（前年度より24人増加）。
- ・ 教育相談件数は76,071件（前年度より2,409件、3.3%の増加）。

(1-1) 暴力行為の発生状況

【対教師暴力】

区分	学校総数 (校)	学校内						学校外						合計	
		発生学校数 (校)	発生学校数 の割合(%)	発生件数(件)		加害児童 生徒数(人)	被害教師数 (人)	発生学校数 (校)	発生学校数 の割合(%)	発生件数(件)		加害児童 生徒数(人)	被害教師数 (人)	発生件数(件)	うち、被害 者が病院で 治療を受けた 場合の件数 (件)
小学校	864	80	9.3	225	19	133	162	1	0.1	1	0	1	2	226	19
中学校	414	213	51.4	844	205	601	707	10	2.4	10	2	11	13	854	207
高等学校	162	46	28.4	65	2	66	57	2	1.2	2	1	2	5	67	3
計	1,440	339	23.5	1,134	226	800	926	13	0.9	13	3	14	20	1,147	229

【生徒間暴力】

区分	学校総数 (校)	学校内						学校外						合計	
		発生学校数 (校)	発生学校数 の割合(%)	発生件数(件)		加害児童 生徒数(人)	被害児童 生徒数(人)	発生学校数 (校)	発生学校数 の割合(%)	発生件数(件)		加害児童 生徒数(人)	被害児童 生徒数(人)	発生件数(件)	うち、被害 者が病院で 治療を受けた 場合の件数 (件)
小学校	864	124	14.4	576	94	482	514	18	2.1	29	4	38	37	605	98
中学校	414	336	81.2	2,680	708	2,764	2,525	182	44.0	425	164	556	495	3,105	872
高等学校	162	113	69.8	350	52	495	343	20	12.3	31	9	40	29	381	61
計	1,440	573	39.8	3,606	854	3,741	3,382	220	15.3	485	177	634	561	4,091	1,031

【対人暴力】

区分	学校総数 (校)	学校内						学校外						合計	
		発生学校数 (校)	発生学校数 の割合(%)	発生件数(件)		加害児童 生徒数(人)	被害者数 (人)	発生学校数 (校)	発生学校数 の割合(%)	発生件数(件)		加害児童 生徒数(人)	被害者数 (人)	発生件数(件)	うち、被害 者が病院で 治療を受けた 場合の件数 (件)
小学校	864	7	0.8	27	0	19	26	7	0.8	7	0	5	9	34	0
中学校	414	7	1.7	27	7	23	26	61	14.7	112	36	164	98	139	43
高等学校	162	3	1.9	3	0	4	3	6	3.7	9	7	8	4	12	7
計	1,440	17	1.2	57	7	46	55	74	5.1	128	43	177	111	185	50

【器物損壊】

区分	学校総数 (校)	発生学校数 (校)	発生学校数 の割合(%)	発生件数 (件)	加害児童 生徒数(人)
小学校	864	126	14.6	355	338
中学校	414	316	76.3	2,638	1,711
高等学校	162	97	59.9	463	339
計	1,440	539	37.4	3,456	2,388

【合計】

区分	学校総数 (校)	学校内				学校外				合計	
		発生学校数 (校)	発生学校数 の割合(%)	発生件数 (件)	加害児童 生徒数 (人)	発生学校数 (校)	発生学校数 の割合(%)	発生件数 (件)	加害児童 生徒数 (人)	発生件数 (件)	加害児童 生徒数 (人)
小学校	864	207	24.0	1,183	972	27	3.1	37	44	1,220	1,016
中学校	414	372	89.9	6,189	5,099	225	54.3	547	731	6,736	5,830
高等学校	162	136	84.0	881	904	25	15.4	42	50	923	954
計	1,440	715	49.7	8,253	6,975	277	19.2	626	825	8,879	7,800

(注1) 調査対象は公立小・中・高等学校。

(注2) 学校総数は、平成20年度学校基本調査の数値。高等学校の学校総数は、全日制、定時制及び併置校の合計数。

(注3) 発生件数は、のべ数。発生件数のうち の欄は、調査時点で学校が把握している情報に基づき、当該暴力行為により被害者が病院で治療した件数を、発生件数の内数として計上。

(注4) 【対教師暴力】、【生徒間暴力】、【対人暴力】及び【器物損壊】欄の加害児童生徒数は、学校内・学校外の区分ごとに実数。

(注5) 【合計】欄の発生学校数は、学校内・学校外の区分ごとに実数。

(注6) 【合計】欄の加害児童生徒数は、学校内・学校外の区分ごとに、1人の加害児童生徒が複数の形態の加害児童生徒として計上されている場合、実数(1人)として扱っているため、(1-2)学年別・男女別加害児童生徒数の数値と一致しない。

(1 - 2) 学年別・男女別加害児童生徒数

区分	小学校							中学校				高等学校				合計
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年生	2年生	3年生	計	1年生	2年生	3年生	計	
男子	46	54	109	135	173	418	935	1,411	2,195	1,756	5,362	446	269	146	861	7,158
女子	4	5	4	13	18	37	81	81	225	162	468	67	21	5	93	642
計	50	59	113	148	191	455	1,016	1,492	2,420	1,918	5,830	513	290	151	954	7,800

(注) 計の欄は、「対教師暴力の状況」「生徒間暴力の状況」「対人暴力の状況」及び「器物損壊の状況」に計上された加害児童生徒数の数値を合計したものと一致している。

(1-3) 加害児童生徒に対する学校の措置状況

(人)

区 分		小学校	中学校	高等学校	
退学・転学	懲戒退学	学校内	-	-	2
		学校外	-	-	0
		小計	-	-	2
	その他	学校内	2	49	35
		学校外	0	10	9
		小計	2	59	44
停学	学校内	-	-	1	
	学校外	-	-	0	
	小計	-	-	1	
出席停止	学校内	0	0	-	
	学校外	0	0	-	
	小計	0	0	-	
自宅学習自宅謹慎等	学校内	-	-	580	
	学校外	-	-	38	
	小計	-	-	618	
訓告	学校内	6	115	5	
	学校外	0	11	0	
	小計	6	126	5	
計	学校内	8	164	623	
	学校外	0	21	47	
	小計	8	185	670	

加害児童生徒数	学校内	972	5,099	904
	学校外	44	731	50
	小計	1,016	5,830	954
加害児童生徒全体に占める割合(%)	学校内	0.8	3.2	68.9
	学校外	0.0	2.9	94.0
	小計	0.8	3.2	70.2

(注1) 「退学・転学」中の「その他」とは、勸奨・申し出による退学及び転学である。

(注2) 「訓告」とは、校長が学校教育法施行規則第13条に定める懲戒処分としての「訓告」であることを明示して行ったものであり、事実上の懲戒として行われる単なる「叱責」等はこれに含まれない。

(1 - 4) 加害児童生徒に対する関係機関の措置状況

(人)

区 分		小学校	中学校	高等学校
警察の補導	学校内	6	142	3
	学校外	1	70	5
	小計	7	212	8
家庭裁判所の保護的措置	学校内	0	95	3
	学校外	0	43	5
	小計	0	138	8
少年刑務所への入所	学校内	0	3	0
	学校外	0	1	0
	小計	0	4	0
少年院への入院	学校内	0	4	0
	学校外	0	12	3
	小計	0	16	3
保護観察	学校内	0	46	4
	学校外	0	35	1
	小計	0	81	5
児童自立支援施設への入所	学校内	0	4	0
	学校外	0	1	0
	小計	0	5	0
児童相談所	学校内	18	21	3
	学校外	0	15	0
	小計	18	36	3
合計	学校内	24	315	13
	学校外	1	177	14
	小計	25	492	27

加害児童生徒数	学校内	972	5,099	904
	学校外	44	731	50
	小計	1,016	5,830	954
加害児童生徒全体に占める割合(%)	学校内	2.5	6.2	1.4
	学校外	2.3	24.2	28.0
	小計	2.5	8.4	2.8

(注1) 最終的な措置が確定している場合は該当する措置、最終的な措置が確定していない場合は年度末現在の状況を計上。

(注2) 「家庭裁判所の保護的措置」には、審判不開始、不処分のほか、調査中、審判中のものが含まれる。

(1 - 5)加害児童生徒に対する学校の対応

(人)

区 分			小学校	中学校	高等学校
指導した者	学級担任や他の教職員が指導	学校内	896	4,740	732
		学校外	32	575	41
		小計	928	5,315	773
	養護教諭が指導	学校内	152	309	52
		学校外	0	30	1
		小計	152	339	53
	校長、教頭が指導	学校内	510	1,054	587
		学校外	23	95	36
		小計	533	1,149	623
	スクールカウンセラー等の相談員がカウンセリング	学校内	73	159	38
		学校外	1	9	8
		小計	74	168	46
	その他の者が指導	学校内	95	86	14
		学校外	6	33	1
		小計	101	119	15
連携した機関等	警察等の刑事司法機関等と連携した対応	学校内	12	337	9
		学校外	2	218	12
		小計	14	555	21
	児童相談所等の福祉機関等と連携した対応	学校内	49	98	2
		学校外	2	30	0
		小計	51	128	2
	病院等の医療機関等と連携した対応	学校内	31	118	8
		学校外	0	10	0
		小計	31	128	8
	その他の専門的な関係機関等と連携した対応	学校内	64	41	5
		学校外	2	21	1
		小計	66	62	6
	地域の人材や団体等と連携した対応	学校内	16	41	0
		学校外	3	12	0
		小計	19	53	0
指導等の内容	被害者等(被害者の関係者も含む)に対する謝罪指導	学校内	613	3,441	418
		学校外	32	394	38
		小計	645	3,835	456
	友人関係を改善するための指導	学校内	437	1,787	356
		学校外	19	208	24
		小計	456	1,995	380
	ルールの徹底や規範意識を醸成するための指導	学校内	658	3,355	592
		学校外	28	390	34
		小計	686	3,745	626
	個別に学習支援	学校内	149	167	306
		学校外	3	24	18
		小計	152	191	324
	当該児童生徒が意欲を持って活動できる場を用意	学校内	207	449	97
		学校外	8	71	6
		小計	215	520	103
	教職員との関係改善	学校内	190	764	129
		学校外	3	42	4
		小計	193	806	133
	保護者の協力を求めて、家族関係等の改善一調整	学校内	419	1,918	200
		学校外	26	288	16
		小計	445	2,206	216
その他	学校内	5	75	11	
	学校外	0	6	5	
	小計	5	81	16	

(注1)複数選択可。

(注2)「警察等の刑事司法機関等と連携した対応」における「サポートチーム」の取組のように、「連携した機関等」には当該機関の関係団体や関係者も含む。

(2 - 1)いじめの認知学校数・認知件数

区分	公立学校総数: A(校)	認知学校数: B(校)	比率: B/A × 100(%)	認知件数: C(件)	1校あたりの認知 件数: C/A(件)	認知していない 学校数: D(校)	比率: D/A × 100(%)
小学校	864	350	40.5	1,320	1.5	514	59.5
中学校	414	361	87.2	2,421	5.8	53	12.8
高等学校	187	84	44.9	154	0.8	103	55.1
特別支援学校	42	6	14.3	14	0.3	36	85.7
計	1,507	801	53.2	3,909	2.6	706	46.8

(注1)いじめの定義

本調査において、個々の行為が「いじめ」に当たるか否かの判断は、表面的・形式的に行うことなく、いじめられた児童生徒の立場に立って行うものとする。

「いじめ」とは、「当該児童生徒が一定の人間関係のある者から、心理的、物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているもの。」とする。なお、起こった場所は学校内外を問わない。

(注2)調査対象:公立小・中・高等・特別支援学校

(注3)学校総数のうちは、高等学校の全定併置校は、全日制、定時制をそれぞれ1校(計2校)として計上しているため、学校基本調査の数値と一致しない。

(2 - 2)いじめの現在の状況

区分	解消しているもの		一定の解消関係が図られたが、継続支援中		解消に向けて取組中		他校への転学、退学等		計	
	件数 (件)	割合 (%)	件数 (件)	割合 (%)	件数 (件)	割合 (%)	件数 (件)	割合 (%)	件数 (件)	割合 (%)
小学校	986	74.7	232	17.6	71	5.4	31	2.3	1,320	100.0
中学校	1,727	71.3	501	20.7	165	6.8	28	1.2	2,421	100.0
高等学校	129	83.8	9	5.8	1	0.6	15	9.7	154	100.0
特別支援学校	10	71.4	4	28.6	0	0.0	0	0.0	14	100.0
計	2,852	73.0	746	19.1	237	6.1	74	1.9	3,909	100.0

(2 - 3)いじめの認知件数の学年別、男女別内訳

区分		男子	女子	計	
小学校	1年生	52	13	65	
	2年生	56	46	102	
	3年生	95	57	152	
	4年生	138	114	252	
	5年生	163	147	310	
	6年生	219	220	439	
	小計	723	597	1,320	
中学校	1年生	617	515	1,132	
	2年生	503	378	881	
	3年生	244	164	408	
	小計	1,364	1,057	2,421	
高等学校	1年生	86	23	109	
	2年生	21	12	33	
	3年生	10	2	12	
	小計	117	37	154	
特別支援学校	小学部	1年生	0	1	1
		2年生	0	0	0
		3年生	0	0	0
		4年生	0	1	1
		5年生	0	0	0
		6年生	0	0	0
		計	0	2	2
	中学部	1年生	0	0	0
		2年生	0	0	0
		3年生	0	0	0
		計	0	0	0
	高等部	1年生	5	2	7
		2年生	3	1	4
		3年生	1	0	1
		計	9	3	12
小計		9	5	14	
合計		2,213	1,696	3,909	

(2-4) いじめの発見のきっかけ

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)
学校の教職員等が発見	539	40.8	1,037	42.8	66	42.9	6	42.9	1,648	42.2
学級担任が発見	430	32.6	592	24.5	21	13.6	6	42.9	1,049	26.8
学級担任以外の教職員が発見(養護教諭、スクールカウンセラー等の相談員を除く)	41	3.1	259	10.7	24	15.6	0	0.0	324	8.3
養護教諭が発見	9	0.7	39	1.6	3	1.9	0	0.0	51	1.3
スクールカウンセラー等の外部の相談員が発見	4	0.3	27	1.1	0	0.0	0	0.0	31	0.8
アンケート調査など学校の取組により発見	55	4.2	120	5.0	18	11.7	0	0.0	193	4.9
学校の教職員以外からの情報により発見	781	59.2	1,384	57.2	88	57.1	8	57.1	2,261	57.8
本人からの訴え	291	22.0	703	29.0	56	36.4	5	35.7	1,055	27.0
当該児童生徒(本人)の保護者からの訴え	339	25.7	451	18.6	14	9.1	3	21.4	807	20.6
児童生徒(本人を除く)からの情報	71	5.4	134	5.5	13	8.4	0	0.0	218	5.6
保護者(本人の保護者を除く)からの情報	72	5.5	76	3.1	3	1.9	0	0.0	151	3.9
地域の住民からの情報	4	0.3	10	0.4	1	0.6	0	0.0	15	0.4
学校以外の関係機関(相談機関等含む)からの情報	2	0.2	4	0.2	1	0.6	0	0.0	7	0.2
その他(匿名による情報など)	2	0.2	6	0.2	0	0.0	0	0.0	8	0.2
計	1,320	100.0	2,421	100.0	154	100.0	14	100.0	3,909	100.0

(注) 「学校の教職員等が発見」が「学校の教職員以外からの情報により発見」のいずれかを選択し、その内訳についても該当するもの一つ選択している。

(2-5) いじめられた児童生徒の相談の状況

区 分	小 学 校		中 学 校		高等学校		特別支援学校		計	
	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)
学級担任に相談	962	72.9	1,669	68.9	82	53.2	7	50.0	2,720	69.6
学級担任以外の教職員に相談(養護教諭、スクールカウンセラー等の相談員を除く)	186	14.1	604	24.9	36	23.4	0	0.0	826	21.1
養護教諭に相談	96	7.3	252	10.4	25	16.2	1	7.1	374	9.6
スクールカウンセラー等の相談員に相談	61	4.6	208	8.6	13	8.4	0	0.0	282	7.2
学校以外の相談機関に相談(電話相談やメール等も含む)	25	1.9	37	1.5	3	1.9	0	0.0	65	1.7
保護者や家族等に相談	571	43.3	882	36.4	37	24.0	5	35.7	1,495	38.2
友人に相談	76	5.8	297	12.3	16	10.4	0	0.0	389	10.0
その他(地域の人など)	10	0.8	7	0.3	0	0.0	0	0.0	17	0.4
誰にも相談していない	76	5.8	176	7.3	21	13.6	3	21.4	276	7.1

いじめの認知件数	1,320	2,421	154	14	3,909
----------	-------	-------	-----	----	-------

(注1) 複数回答のため、件数の合計は認知件数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。

(注2) 構成比は、各区分における認知件数に対する割合。

(2-6)いじめの態様

区 分	小 学 校		中 学 校		高等学校		特別支援学校		計	
	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)
冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	899	68.1	1,364	56.3	80	51.9	8	57.1	2,351	60.1
仲間はずれ、集団による無視をされる。	419	31.7	452	18.7	17	11.0	1	7.1	889	22.7
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。	329	24.9	451	18.6	35	22.7	3	21.4	818	20.9
ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。	73	5.5	211	8.7	21	13.6	0	0.0	305	7.8
金品をたかられる。	27	2.0	80	3.3	17	11.0	0	0.0	124	3.2
金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	71	5.4	327	13.5	13	8.4	1	7.1	412	10.5
嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	85	6.4	194	8.0	11	7.1	3	21.4	293	7.5
パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷や嫌なことをされる。	39	3.0	231	9.5	24	15.6	1	7.1	295	7.5
その他	34	2.6	65	2.7	12	7.8	0	0.0	111	2.8

いじめの認知件数	1,320	2,421	154	14	3,909
----------	-------	-------	-----	----	-------

(注1) 複数回答のため、件数の合計は認知件数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。

(注2) 構成比は、各区分における認知件数に対する割合。

(2-7)いじめる児童生徒への対応

区 分	小 学 校		中 学 校		高等学校		特別支援学校		計	
	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)
学級担任や他の教職員が状況を聞く	1,186	89.8	2,139	88.4	95	61.7	9	64.3	3,429	87.7
養護教諭が状況を聞く	129	9.8	187	7.7	17	11.0	1	7.1	334	8.5
スクールカウンセラー等の相談員が状況を聞く	58	4.4	108	4.5	9	5.8	0	0.0	175	4.5
スクールカウンセラー等の相談員がカウンセリングを行う	32	2.4	110	4.5	14	9.1	0	0.0	156	4.0
学級担任や他の教職員が指導	920	69.7	1,889	78.0	84	54.5	5	35.7	2,898	74.1
養護教諭が指導	77	5.8	68	2.8	9	5.8	2	14.3	156	4.0
校長、教頭が指導	292	22.1	117	4.8	61	39.6	0	0.0	470	12.0
別室指導	267	20.2	311	12.8	45	29.2	4	28.6	627	16.0
停学・退学処分	-	-	-	-	4	2.6	0	0.0	4	0.1
グループ替えや席替え、学級替え等	195	14.8	134	5.5	5	3.2	1	7.1	335	8.6
出席停止	0	0.0	0	0.0	-	-	-	-	0	0.0
保護者への報告	794	60.2	1,717	70.9	70	45.5	5	35.7	2,586	66.2
いじめられた児童生徒やその保護者に対する謝罪の指導	498	37.7	1,402	57.9	66	42.9	3	21.4	1,969	50.4
児童相談所、警察等の関係機関と連携した対応(サポートチームなども含む)	25	1.9	69	2.9	6	3.9	0	0.0	100	2.6
その他	12	0.9	25	1.0	5	3.2	1	7.1	43	1.1

いじめの認知件数	1,320	2,421	154	14	3,909
----------	-------	-------	-----	----	-------

(注1) 複数回答のため、件数の合計は認知件数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。

(注2) 構成比は、各区分における認知件数に対する割合。

(2-8) いじめられた児童生徒への対応

区 分	小 学 校		中 学 校		高等学校		特別支援学校		計	
	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)
学級担任や他の教職員が状況を聞く	1,231	93.3	2,223	91.8	109	70.8	10	71.4	3,573	91.4
養護教諭が状況を聞く	187	14.2	375	15.5	35	22.7	2	14.3	599	15.3
スクールカウンセラー等の相談員が状況を聞く	108	8.2	279	11.5	20	13.0	0	0.0	407	10.4
学級担任や他の教職員が継続的に面談しケアを行う	616	46.7	1,368	56.5	71	46.1	2	14.3	2,057	52.6
養護教諭が継続的に面談しケアを行う	83	6.3	218	9.0	23	14.9	1	7.1	325	8.3
スクールカウンセラー等の相談員が継続的にカウンセリングを行う	46	3.5	220	9.1	8	5.2	0	0.0	274	7.0
別室を提供したり、常時教職員が付くなどして心身の安全を確保	101	7.7	175	7.2	17	11.0	0	0.0	293	7.5
緊急避難としての欠席	45	3.4	82	3.4	9	5.8	0	0.0	136	3.5
他の児童生徒に対し、助力・支援を個別に依頼	247	18.7	365	15.1	23	14.9	2	14.3	637	16.3
学級担任や他の教職員等が家庭訪問を実施	172	13.0	740	30.6	20	13.0	0	0.0	932	23.8
グループ替えや席替え、学級替え等	248	18.8	203	8.4	8	5.2	1	7.1	460	11.8
児童相談所等の関係機関と連携した対応(サポートチームなども含む)	16	1.2	62	2.6	3	1.9	0	0.0	81	2.1
その他	27	2.0	54	2.2	5	3.2	1	7.1	87	2.2

いじめの認知件数	1,320	2,421	154	14	3,909
----------	-------	-------	-----	----	-------

(注1) 複数回答のため、件数の合計は認知件数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。

(注2) 構成比は、各区分における認知件数に対する割合。

(2-9)個々のいじめへの対応

区 分	小 学 校		中 学 校		高等学校		特別支援学校		計	
	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)
当該いじめについての状況を確認するため、他の児童生徒に対しアンケート調査や個別面談等を実施	223	16.9	407	16.8	54	35.1	3	21.4	687	17.6
当該いじめについて、被害、加害双方の児童生徒同士の話し合いを実施	627	47.5	925	38.2	41	26.6	2	14.3	1,595	40.8
当該いじめについて、被害、加害双方の保護者同士の話し合いを実施	132	10.0	473	19.5	18	11.7	0	0.0	623	15.9
学級で当該いじめを取り上げ、学級全体に指導	714	54.1	691	28.5	31	20.1	3	21.4	1,439	36.8
当該いじめについて、学年集会や全校集会を実施して学年・学校全体に対して指導	154	11.7	561	23.2	23	14.9	1	7.1	739	18.9
職員会議や委員会等で当該いじめについての対応策を検討	254	19.2	556	23.0	42	27.3	4	28.6	856	21.9
保護者会やPTA総会等を開催して、当該いじめについて保護者に報告	61	4.6	100	4.1	3	1.9	0	0.0	164	4.2
当該いじめについて、教育委員会と連携して対応	48	3.6	63	2.6	5	3.2	1	7.1	117	3.0
その他	28	2.1	27	1.1	3	1.9	1	7.1	59	1.5

いじめの認知件数	1,320	2,421	154	14	3,909
----------	-------	-------	-----	----	-------

(注1) 複数回答のため、件数の合計は認知件数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。

(注2) 構成比は、各区分における認知件数に対する割合。

(注3) 個々のいじめについて、加害、被害児童生徒への対応のほか、学級、学校で対応したものなどを調査。

(2-10) 学校におけるいじめの問題に対する日常の取組

【いじめを認知した学校】

区 分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	学校数 (校)	構成比 (%)	学校数 (校)	構成比 (%)	学校数 (校)	構成比 (%)	学校数 (校)	構成比 (%)	学校数 (校)	構成比 (%)
職員会議等を通じていじめ問題について教職員間で共通理解を図った	333	95.1	331	91.7	71	84.5	3	50.0	738	92.1
道徳や学級活動の時間にいじめにかかわる問題を取り上げ、指導を行った	349	99.7	346	95.8	31	36.9	2	33.3	728	90.9
児童・生徒会活動を通じて、いじめの問題を考えさせたり、生徒同士の人間関係や仲間作りを促進した	214	61.1	259	71.7	24	28.6	1	16.7	498	62.2
スクールカウンセラー、相談員、養護教諭を積極的に活用して相談にあたった	211	60.3	256	70.9	40	47.6	1	16.7	508	63.4
いじめ問題に対応するため、校内組織の整備など教育相談体制の充実を図った	204	58.3	259	71.7	43	51.2	2	33.3	508	63.4
教育相談の実施について、必要に応じて教育センターなどの専門機関と連携を図るとともに、学校以外の相談窓口の周知や広報の徹底を図った。	90	25.7	146	40.4	17	20.2	1	16.7	254	31.7
学校におけるいじめへの対応方針や指導計画等を公表し、保護者や地域住民の理解を得るよう努めた	54	15.4	59	16.3	5	6.0	0	0.0	118	14.7
PTAや地域の関係団体等とともに、いじめの問題について協議する機会を設けた	23	6.6	43	11.9	1	1.2	0	0.0	67	8.4
いじめの問題に対し、地域の関係機関と連携協力した対応を図った	32	9.1	51	14.1	2	2.4	1	16.7	86	10.7
その他	8	2.3	20	5.5	3	3.6	1	16.7	32	4.0
いじめを認知した学校数	350		361		84		6		801	

(注1) 複数回答のため、学校数の合計はいじめを認知した学校数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。

(注2) 構成比は、各区分におけるいじめを認知した学校数に対する割合。

【いじめを認知していない学校】

区 分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	学校数 (校)	構成比 (%)	学校数 (校)	構成比 (%)	学校数 (校)	構成比 (%)	学校数 (校)	構成比 (%)	学校数 (校)	構成比 (%)
職員会議等を通じていじめ問題について教職員間で共通理解を図った	358	69.6	33	62.3	52	50.5	16	44.4	459	65.0
道徳や学級活動の時間にいじめにかかわる問題を取り上げ、指導を行った	385	74.9	38	71.7	33	32.0	12	33.3	468	66.3
児童・生徒会活動を通じて、いじめの問題を考えさせたり、生徒同士の人間関係や仲間作りを促進した	271	52.7	28	52.8	31	30.1	13	36.1	343	48.6
スクールカウンセラー、相談員、養護教諭を積極的に活用して相談にあたった	240	46.7	40	75.5	72	69.9	5	13.9	357	50.6
いじめ問題に対応するため、校内組織の整備など教育相談体制の充実を図った	231	44.9	34	64.2	59	57.3	11	30.6	335	47.5
教育相談の実施について、必要に応じて教育センターなどの専門機関と連携を図るとともに、学校以外の相談窓口の周知や広報の徹底を図った。	135	26.3	18	34.0	28	27.2	7	19.4	188	26.6
学校におけるいじめへの対応方針や指導計画等を公表し、保護者や地域住民の理解を得るよう努めた	78	15.2	4	7.5	4	3.9	0	0.0	86	12.2
PTAや地域の関係団体等とともに、いじめの問題について協議する機会を設けた	52	10.1	3	5.7	1	1.0	0	0.0	56	7.9
いじめの問題に対し、地域の関係機関と連携協力した対応を図った	51	9.9	5	9.4	2	1.9	1	2.8	59	8.4
その他	8	1.6	0	0.0	7	6.8	4	11.1	19	2.7
いじめを認知していない学校数	514		53		103		36		706	

(注1) 複数回答のため、学校数の合計はいじめを認知していない学校数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。

(注2) 構成比は、各区分におけるいじめを認知していない学校数に対する割合。

【合計】

区 分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	学校数 (校)	構成比 (%)	学校数 (校)	構成比 (%)	学校数 (校)	構成比 (%)	学校数 (校)	構成比 (%)	学校数 (校)	構成比 (%)
職員会議等を通じていじめ問題について教職員間で共通理解を図った	691	80.0	364	87.9	123	65.8	19	45.2	1,197	79.4
道徳や学級活動の時間にいじめにかかわる問題を取り上げ、指導を行った	734	85.0	384	92.8	64	34.2	14	33.3	1,196	79.4
児童・生徒会活動を通じて、いじめの問題を考えさせたり、生徒同士の人間関係や仲間作りを促進した	485	56.1	287	69.3	55	29.4	14	33.3	841	55.8
スクールカウンセラー、相談員、養護教諭を積極的に活用して相談にあたった	451	52.2	296	71.5	112	59.9	6	14.3	865	57.4
いじめ問題に対応するため、校内組織の整備など教育相談体制の充実を図った	435	50.3	293	70.8	102	54.5	13	31.0	843	55.9
教育相談の実施について、必要に応じて教育センターなどの専門機関と連携を図るとともに、学校以外の相談窓口の周知や広報の徹底を図った。	225	26.0	164	39.6	45	24.1	8	19.0	442	29.3
学校におけるいじめへの対応方針や指導計画等を公表し、保護者や地域住民の理解を得るよう努めた	132	15.3	63	15.2	9	4.8	0	0.0	204	13.5
PTAや地域の関係団体等とともに、いじめの問題について協議する機会を設けた	75	8.7	46	11.1	2	1.1	0	0.0	123	8.2
いじめの問題に対し、地域の関係機関と連携協力した対応を図った	83	9.6	56	13.5	4	2.1	2	4.8	145	9.6
その他	16	1.9	20	4.8	10	5.3	5	11.9	51	3.4
学校総数	864		414		187		43		1,507	

(注1) 複数回答のため、学校数の合計は学校総数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。

(注2) 構成比は、各区分における学校総数に対する割合。

(2-11) いじめの日常的な実態把握のために、学校が直接児童生徒に対し行った具体的な方法

【いじめを認知した学校】

区 分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	学校数 (校)	構成比 (%)	学校数 (校)	構成比 (%)	学校数 (校)	構成比 (%)	学校数 (校)	構成比 (%)	学校数 (校)	構成比 (%)
アンケート調査の実施	142	40.6	253	70.1	41	48.8	1	16.7	437	54.6
個別面談の実施	293	83.7	342	94.7	67	79.8	4	66.7	706	88.1
「個人ノート」や「生活ノート」といったような教職員と児童生徒との間で日常的に行われている日記等	170	48.6	166	46.0	4	4.8	1	16.7	341	42.6
家庭訪問	180	51.4	274	75.9	10	11.9	3	50.0	467	58.3
その他	52	14.9	44	12.2	7	8.3	4	66.7	107	13.4
いじめを認知した学校数	350		361		84		6		801	

(注1) 複数回答のため、学校数の合計はいじめを認知した学校数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。

(注2) 構成比は、各区分におけるいじめを認知した学校数に対する割合。

【いじめを認知していない学校】

区 分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	学校数 (校)	構成比 (%)	学校数 (校)	構成比 (%)	学校数 (校)	構成比 (%)	学校数 (校)	構成比 (%)	学校数 (校)	構成比 (%)
アンケート調査の実施	145	28.2	30	56.6	46	44.7	3	8.3	224	31.7
個別面談の実施	290	56.4	46	86.8	79	76.7	16	44.4	431	61.0
「個人ノート」や「生活ノート」といったような教職員と児童生徒との間で日常的に行われている日記等	224	43.6	24	45.3	5	4.9	9	25.0	262	37.1
家庭訪問	201	39.1	30	56.6	7	6.8	18	50.0	256	36.3
その他	37	7.2	2	3.8	10	9.7	13	36.1	62	8.8
いじめを認知していない学校数	514		53		103		36		706	

(注1) 複数回答のため、学校数の合計はいじめを認知していない学校数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。

(注2) 構成比は、各区分におけるいじめを認知していない学校数に対する割合。

【合計】

区 分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	学校数 (校)	構成比 (%)	学校数 (校)	構成比 (%)	学校数 (校)	構成比 (%)	学校数 (校)	構成比 (%)	学校数 (校)	構成比 (%)
アンケート調査の実施	287	33.2	283	68.4	87	46.5	4	9.5	661	43.9
個別面談の実施	583	67.5	388	93.7	146	78.1	20	47.6	1,137	75.4
「個人ノート」や「生活ノート」といったような教職員と児童生徒との間で日常的に行われている日記等	394	45.6	190	45.9	9	4.8	10	23.8	603	40.0
家庭訪問	381	44.1	304	73.4	17	9.1	21	50.0	723	48.0
その他	89	10.3	46	11.1	17	9.1	17	40.5	169	11.2
学校総数	864		414		187		36		1,507	

(注1) 複数回答のため、学校数の合計は学校総数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。

(注2) 構成比は、各区分における学校総数に対する割合。

(2 - 12) いじめの問題により就学校の指定変更等を受けた児童生徒数
(人)

区分		19年度	20年度
小学校	1年生	0	6
	2年生	4	4
	3年生	0	3
	4年生	1	6
	5年生	2	4
	6年生	9	6
	計	16	29
中学校	1年生	30	32
	2年生	25	23
	3年生	12	5
	計	67	60
特別支援学校	小学部	0	0
	中学部	0	0
	計	0	0
合 計		83	89
就学校の指定の変更又は区域外就学を認めた市町村数		10	5

(3 - 1) 出席停止の件数

区分	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
小学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中学校	1	2	1	2	3	1	0	0	5	7	3	0
計	1	2	1	2	3	1	0	0	5	7	3	0

(注) 調査対象：公立小・中学校。

(3 - 2) 出席停止の学年別・男女別件数

学年別件数

区分		9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
小学校	1年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中学校	1年生	0	0	0	0	1	0	0	0	3	5	0	0
	2年生	1	0	0	2	0	1	0	0	2	2	3	0
	3年生	0	2	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0
	計	1	2	1	2	3	1	0	0	5	7	3	0
合計	1	2	1	2	3	1	0	0	5	7	3	0	

男女別件数

区分		9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
男子	小学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中学校	1	2	0	2	3	1	0	0	5	7	3	0
	計	1	2	0	2	3	1	0	0	5	7	3	0
女子	小学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中学校	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(3 - 3) 出席停止の期間別件数

区分		9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
小学校	1～3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4～6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7～13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14～20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	21日以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中学校	1～3日	0	0	1	0	1	0	0	0	3	0	0	0
	4～6日	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0
	7～13日	1	2	0	2	0	0	0	0	2	5	1	0
	14～20日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0
	21日以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	合計	1	2	1	2	3	1	0	0	5	7	3	0
合計	1～3日	0	0	1	0	1	0	0	0	3	0	0	0
	4～6日	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0
	7～13日	1	2	0	2	0	0	0	0	2	5	1	0
	14～20日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0
	21日以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	合計	1	2	1	2	3	1	0	0	5	7	3	0

(3 - 4) 出席停止の理由別件数

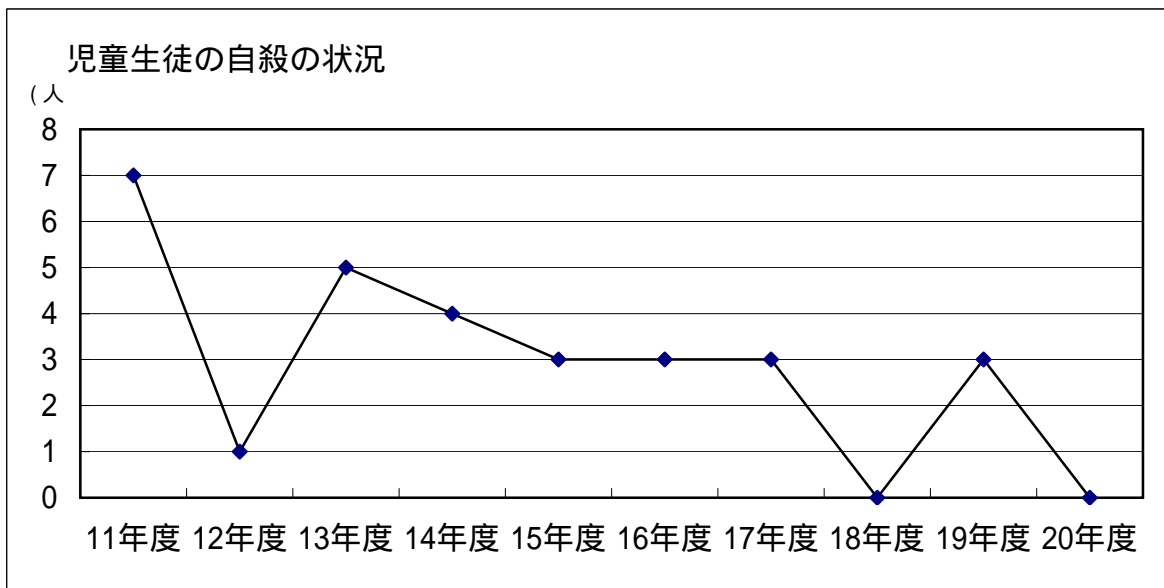
区分		9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
小学校	対教師暴力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	生徒間暴力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	対人暴力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	器物損壊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	授業妨害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	いじめ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中学校	対教師暴力	1	2	0	0	0	0	0	0	1	4	3	0
	生徒間暴力	0	0	0	1	3	1	0	0	1	3	0	0
	対人暴力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	器物損壊	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0
	授業妨害	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	いじめ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	1	2	1	2	3	1	0	0	5	7	3	0
計	対教師暴力	1	2	0	0	0	0	0	0	1	4	3	0
	生徒間暴力	0	0	0	1	3	1	0	0	1	3	0	0
	対人暴力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	器物損壊	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0
	授業妨害	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	いじめ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	1	2	1	2	3	1	0	0	5	7	3	0

(注)平成19年度より複数回答可。

(4 - 1) 児童生徒の自殺の状況

区分	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
総数	7	1	5	4	3	3	3	0	3	0
小学生	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
中学生	4	1	0	1	2	2	2	0	2	0
高校生	3	0	5	3	1	0	1	0	1	0

(注) 調査対象: 公立小・中・高等学校。



(4-2) 自殺した児童生徒の学年別、男女別内訳

区分	小学校							中学校				高等学校					合計
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年生	2年生	3年生	計	1年生	2年生	3年生	4年生	計	
男子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(4-3) 自殺した児童生徒が置かれていた状況

区分	小学校		中学校		高等学校		計	
	人数 (人)	構成比 (%)	人数 (人)	構成比 (%)	人数 (人)	構成比 (%)	人数 (人)	構成比 (%)
家庭不和	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
父母等のしっ責	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
学業不振	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
進路問題	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
教職員との関係での悩み	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
友人関係での悩み(いじめを除く)	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
いじめの問題	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
病弱等による悲観	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
厭世	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
異性問題	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
精神障害	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

(注1) 調査対象：公立小・中・高等学校。

(注2) 複数回答可とする。

(注3) 構成比は、各区分における自殺した児童生徒数に対する割合。

(5 - 1) 県・政令指定都市における教育相談機関及び教育相談員数

区分		機関(ヶ所)	教育相談員		
			常勤(人)	非常勤(人)	計(人)
教育センター・ 教育研究所	19年度	3	20 (6.7)	192 (64.0)	212 (70.7)
	20年度	3	20 (6.7)	125 (41.7)	145 (48.3)
教育相談所・ 相談室	19年度	1	0 (0.0)	7 (7.0)	7 (7.0)
	20年度	2	0 (0.0)	59 (29.5)	59 (29.5)
計	19年度	4	20 (5.0)	199 (49.8)	219 (54.8)
	20年度	5	20 (4.0)	184 (36.8)	204 (40.8)

(注1) ()内は、1機関当たりの平均教育相談員数。

(注2) 「教育センター・教育研究所」とは、教員研修、専門的研究、教育相談等の活動を行う総合的機関。

(注2) 「教育相談所・相談室」とは、主として教育相談を行う機関のことであり、教育委員会や地方教育事務所の建物の中に設置されている相談室や相談コーナーを含む。

(5 - 2) 県・政令指定都市における教育相談員数別機関数

常勤教育相談員数別機関数

(単位：ヶ所)

区分	0人	1～2人	3～4人	5～9人	10～19人	20人以上	計
教育センター・ 教育研究所	0	1	0	1	1	0	3
教育相談所・ 相談室	2	0	0	0	0	0	2
計	2	1	0	1	1	0	5

非常勤教育相談員数別機関数

(単位：ヶ所)

区分	0人	1～2人	3～4人	5～9人	10～19人	20人以上	計
教育センター・ 教育研究所	0	0	0	0	0	3	3
教育相談所・ 相談室	0	0	0	1	0	1	2
計	0	0	0	1	0	4	5

(5 - 3) 県・政令指定都市における相談形態別教育相談機関数

(単位: ヶ所)

区分	来所のみ	電話のみ	訪問のみ	来所と電話	来所と訪問	電話と訪問	来所電話訪問	計
教育センター・教育研究所	0	0	0	0	0	0	3	3
教育相談所・相談室	0	0	0	1	0	1	0	2
計	0	0	0	1	0	1	3	5

(注1) 訪問相談とは、依頼に応じて訪問して行う教育相談をいう。

(注2) 教育相談機関の通常の業務の一環として行われている巡回教育相談については、「訪問」に含まれる。

(5 - 4) 県・政令指定都市における相談形態別教育相談件数

(単位: 件)

区分	来所	電話	訪問	巡回	計
教育センター・教育研究所	9,806	12,536	1,721	224	24,287
教育相談所・相談室	497	5,551	6,386	0	12,434
計	10,303	18,087	8,107	224	36,721

(注1) 訪問相談とは、依頼に応じて訪問して行う教育相談をいい、巡回教育相談とは、教育相談機関が相談者の便を図り、計画的に公民館等に向向いて相談を受けるものをいう。

(注2) 同じ者に継続して行った教育相談は、1件として計上。ただし、途中から相談方法を変えるなど複数の方法で相談を行った場合には、それぞれの相談方法ごとに1件と数える。

(注3) 各件数には、小・中・高等学校に通う児童生徒とその家族による相談のほか、学校に通っていない青少年や教職員などによる相談も含んでいる。

(5 - 5) 県・政令指定都市における小学生、中学生及び高校生に関する教育相談件数

区分		小学生	中学生	高校生	合計	
来所件数	教育相談総件数	5,536	3,022	1,079	9,637	
	内数	いじめに関する教育相談件数(件)	5	10	2	17
		うち、不登校に関する相談もあわせて行った件数	1	7	0	8
		教育相談総件数に占める割合(%)	0.1	0.3	0.2	0.2
		不登校に関する教育相談件数(件)	1,063	1,073	376	2,512
		教育相談総件数に占める割合(%)	19.2	35.5	34.8	26.1
電話相談	教育相談総件数	4,248	3,559	4,619	12,426	
	内数	いじめに関する教育相談件数(件)	665	414	257	1,336
		教育相談総件数に占める割合(%)	15.7	11.6	5.6	10.8
		不登校に関する教育相談件数(件)	340	448	240	1,028
		教育相談総件数に占める割合(%)	8.0	12.6	5.2	8.3
訪問相談	教育相談総件数	6,809	557	472	7,838	
	内数	いじめに関する教育相談件数(件)	158	6	1	165
		教育相談総件数に占める割合(%)	2.3	1.1	0.2	2.1
		不登校に関する教育相談件数(件)	978	85	12	1,075
		教育相談総件数に占める割合(%)	14.4	15.3	2.5	13.7
巡回相談	教育相談総件数	36	2	186	224	
	内数	いじめに関する教育相談件数(件)	4	0	0	4
		教育相談総件数に占める割合(%)	11.1	0.0	0.0	1.8
		不登校に関する教育相談件数(件)	7	0	2	9
		教育相談総件数に占める割合(%)	19.4	0.0	1.1	4.0
計	教育相談総件数	16,629	7,140	6,356	30,125	
	内数	いじめに関する教育相談件数(件)	832	430	260	1,522
		教育相談総件数に占める割合(%)	5.0	6.0	4.1	5.1
		不登校に関する教育相談件数(件)	2,388	1,606	630	4,624
		教育相談総件数に占める割合(%)	14.4	22.5	9.9	15.3

(5 - 6) 政令指定都市を除く市町村における教育相談機関及び教育相談員数

教育相談機関数

機関数(カ所)	38
---------	----

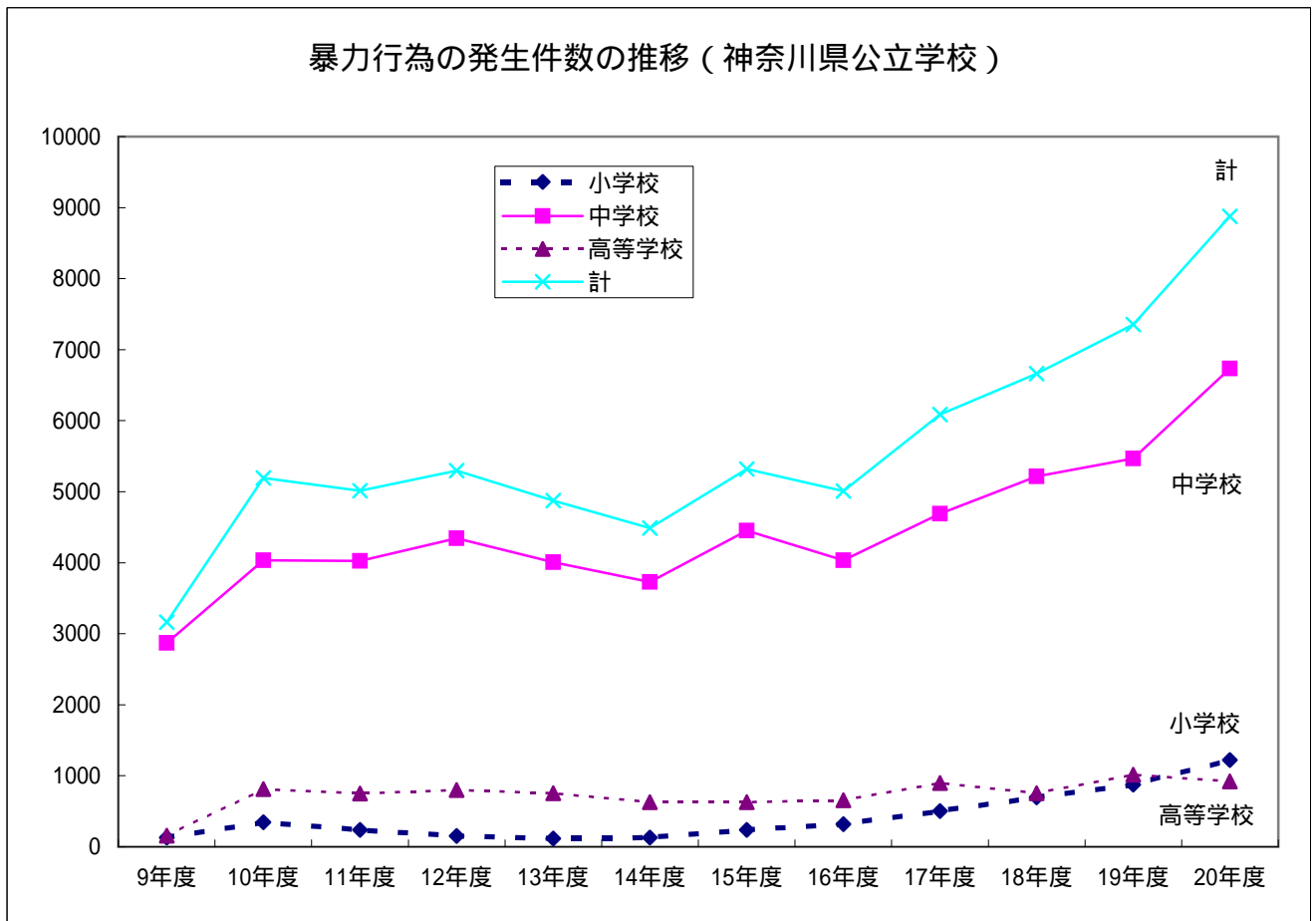
教育相談員数

区分	常勤	非常勤	計
人数(人)	55	220	275
構成比(%)	20	80	100
1機関あたり相談員数(人)	1	6	7

(5 - 7) 政令指定都市を除く市町村における相談形態別教育相談件数

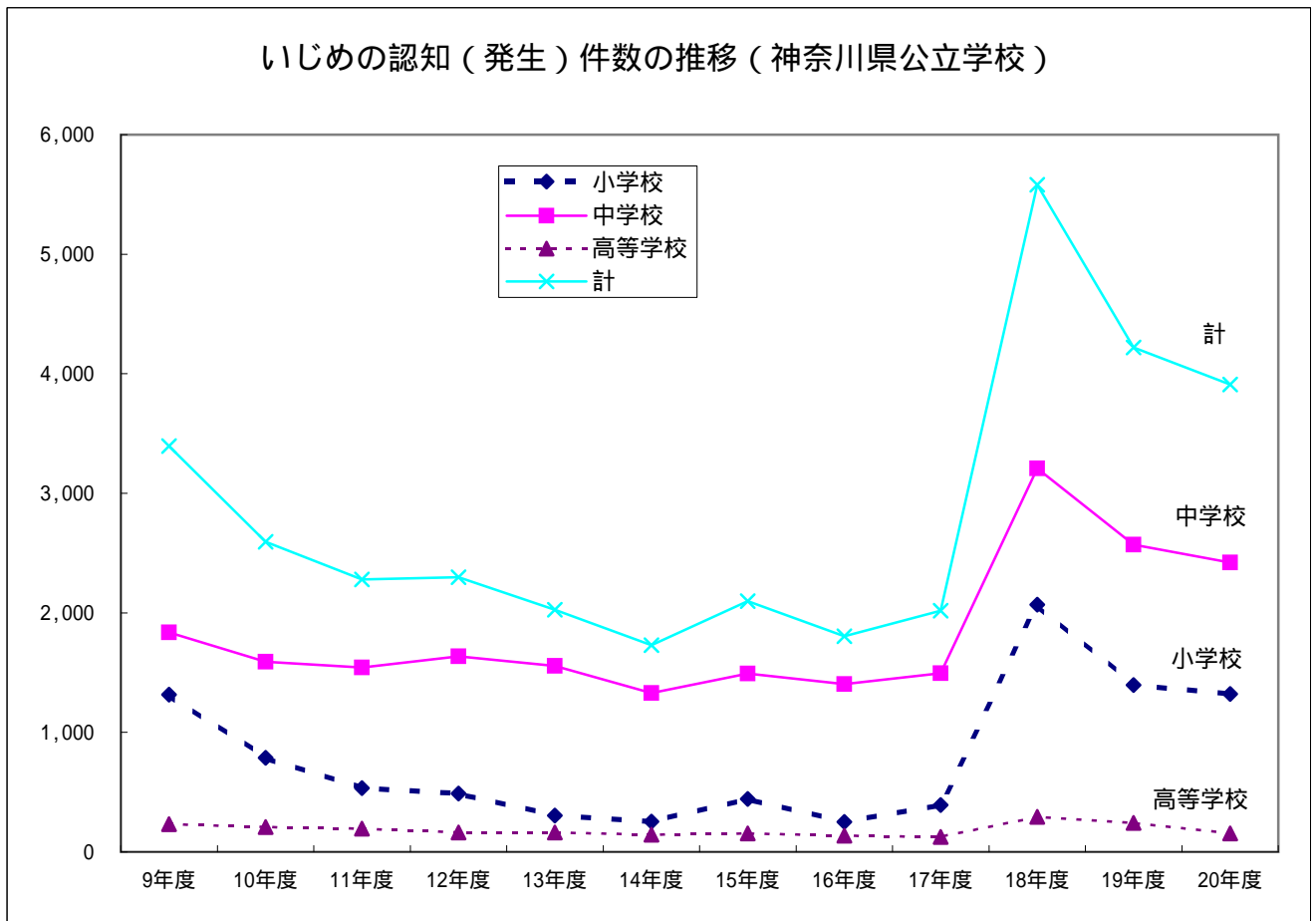
区分	来所相談	電話相談	訪問相談	巡回相談	計
件数(件)	26,598	8,457	3,167	37,849	76,071

(参考1) 暴力行為の発生件数の推移(神奈川県公立学校)



	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
小学校	132	348	237	151	115	132	237	318	501	695	875	1,220
中学校	2,871	4,035	4,027	4,345	4,006	3,727	4,453	4,032	4,688	5,214	5,465	6,736
高等学校	159	811	751	799	754	627	631	657	899	754	1,014	923
計	3,162	5,194	5,015	5,295	4,875	4,486	5,321	5,007	6,088	6,663	7,354	8,879

(参考2) いじめの認知(発生)件数の推移(神奈川県公立学校)



	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
小学校	1,315	787	534	489	303	254	444	252	393	2,068	1,397	1,320
中学校	1,836	1,592	1,542	1,635	1,556	1,328	1,493	1,405	1,495	3,209	2,569	2,421
高等学校	232	209	195	162	164	145	156	136	126	294	244	154
特別支援学校	13	7	8	12	4	3	6	11	5	9	11	14
計	3,396	2,595	2,279	2,298	2,027	1,730	2,099	1,804	2,019	5,580	4,221	3,909